

会議録

| | |
|----------------------|---|
| <p>会議の名称</p> | <p>令和7年度朝霞市ふれあい推進事業第3回推進委員会</p> |
| <p>開催日時</p> | <p>令和8年2月10日（火）午後4時から午後5時まで</p> |
| <p>開催場所</p> | <p>ゆめぱれす（朝霞市民会館）梅会議室</p> |
| <p>出席者及び欠席者の職・氏名</p> | <p>○出席者 21名 ・委員等 14名 （松尾自治会連合会長、平塚文化協会会長、栗原レクリエーション協会理事、坂本西部地区民生委員児童委員協議会副会長、柏谷商工会理事、鳴海東洋大学教授、渡辺社会福祉協議会常務理事、富樫青少年相談員協議会書記、大畑保護司会副支部長、原口朝霞第四小学校長、西朝霞第七小学校父母と先生の会会長、羽石朝霞第五小学校PTA会長、山田朝霞第四中学校父母と先生の会会長、松本朝霞第三小学校長） ・事務局 7名 （奥山生涯学習部長、福士学校教育部長、堀川生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ課長、高橋こども未来課長、蛭原教育指導課課長補佐、三宅教育指導課指導主事、荒井生涯学習・スポーツ課係長） ○欠席者 11名 （渡邊青少年育成市民会議会長、石原スポーツ協会会長、松井スポーツ少年団本部長、根上朝霞警察署生活安全課長代理、伊藤埼玉県立朝霞高等学校長、佐藤埼玉県立朝霞西高等学校長、江藤朝霞第四小学校よつばの会代表、田中朝霞第七小学校長、田邊朝霞第五小学校長、太田朝霞第四中学校長、田中朝霞第三小学校PTA会長）</p> |
| <p>議題</p> | <p>（1）朝霞市ふれあい推進事業中学校区における事業について各中学校区からの報告（予算執行状況も含む） （2）令和8年度朝霞市ふれあい推進事業について</p> |
| <p>会議資料</p> | <p>資料1 令和7年度朝霞市ふれあい推進事業第3回推進委員会次第 資料2 令和7年度朝霞市ふれあい推進事業第3回推進委員会資料</p> |

| | | |
|----------|---|---|
| 会議録の作成方針 | <input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録 | |
| | <input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 | |
| | <input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年） | |
| | 電磁的記録から文書に書き起こした 場合の当該電磁的記録の保存期間 | <input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月 |
| | 会議録の確認方法 事務局長による確認 | |
| 傍聴者の数 | 9人 | |
| その他の必要事項 | 無し | |

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 委員長あいさつ

（松尾委員長）

皆様、こんばんは。本日は、第3回目のふれあい推進事業推進委員会にご出席いただき、ありがとうございます。各中学校区での取組をご報告いただき、来年度のふれあい推進事業に生かせるよう、よろしくお願ひいたします。

2 議題

（1）令和7年度各中学校区での事業報告について

①朝霞第一中学校区における事業報告について

（原口朝霞第四小学校長）

第一中学校区では、11月8日（土）に朝霞第一中学校にて、朝霞第一中学校卒で、ロンドン五輪出場経験のある土井杏南選手をお迎えし、講演会及び「かけっこ体験」を実施した。朝霞第一小学校、朝霞第四小学校、朝霞第六小学校、朝霞第一中学校の児童生徒が参加した。

②朝霞第二中学校区における事業について

（西朝霞第七小学校父母と先生の会会長）

体育館では、二中吹奏楽の演奏や二中鳴子の演舞、七小ダンスクラブの発表を行った。校庭では七小おやじの会が「お餅つき体験」を実施した。校舎内では、二小PTAが「ニンジン詰め放題」、九小PTAが「ストラックアウト」、二中PTAが射的を実施した。多くの子供や大人が参加し、たくさんの笑顔が見られた。

③朝霞第三中学校区における事業について

（羽石朝霞第五小学校PTA会長）

雨天のため、朝霞第三中学校体育館にて実施となったが、例年同様多くの方に参加いただいた。三中校区の児童生徒・保護者・地域の交流を深める貴重な機会となった。五小鳴子「けやきっ子」と三中鳴子「みつばち」による演舞、十小「うたの輪合唱団」による合唱発表、三中吹奏楽部による演奏等の披露により、大変賑やかなものとなった。あいさつ運動推進の「看板作り」では、子供たちの創意工夫を生かした看板を作成することができた。

④朝霞第四中学校区における事業について

（山田朝霞第四中学校父母と先生の会会長）

例年に引き続き朝霞第四中学校、朝霞第八小学校を会場として開催した。当日は雨天にも関わらず2,982名もの来場者がいらっしやった。主に体育館を中心に実施した。モノづくり体験や模擬店等、約40の出店があったほか、四中吹奏楽部や朝霞西高校ダンス部によるステージも大いに盛り上がった。

⑤朝霞第五中学校区における事業について

（松本朝霞第三小学校長）

当日は天候にも恵まれ、校舎と体育館、校庭等での開催となり、多くの参加者が来場し、大変な賑わいであった。焼きそばや野菜などの販売のほか、ふれあい動物園やストラックアウトなどの体験、三小と五中の特別支援学級の手作り販売にも長蛇の

列が見られた。三小が会場でしたが、五中からボランティアの生徒の参加や吹奏楽部の演奏もあった。

(質疑)

(西朝霞第七小学校父母と先生の会会長)

一中のイベントに二中の生徒が参加したのは本当か。

(原口朝霞第四小学校長)

部活の顧問が市内の中学校に声をかけたが、三中等は大会だったため二中のみ参加した。

(2) 令和8年度朝霞市ふれあい推進事業について

(事務局：三宅)

各中学校区で工夫を凝らした事業を実施していただき、ありがとうございました。次年度に向けてぜひとも忌憚のない意見をお願いいたします。

(西朝霞第七小学校父母と先生の会会長)

- ・PTAが主軸のため、年間4回の会議を平日の日中に開催するのは厳しい。
- ・会場を七小に変更したことで、参加団体が減ってしまった。
- ・11月に開催したかったが、日程調整が難航してしまった。
- ・二中が事務局を抜け、自治会の協力が得られないのは、厳しい。
- ・個人的には大成功したと思うが、ふれあい推進の目的を達成するには、かなりの労力を要するため、二中校区は来年度ふれあい推進事業から抜けることを教育委員会と協議していきたい。

(奥山生涯学習部長)

- ・即答はできないので持ち帰りたい。

(原口朝霞第四小学校長)

- ・一中区は、町内会の数が13もあり集まるのが難しいので、中学校区ではなく各小学校区でコンパクトに実施したい。その方がより地域と学校の結びつきも深まると考える。また、中学生については、出身小学校に派遣し、合唱や鳴子の発表を通じて連携をはかりたい。
- ・六小は土曜参観の後にイベントをやりたいといっている。
- ・小学校校区で実施することを教育委員会に承認してほしい。

(奥山生涯学習部長)

- ・小学校区で開催したいということについて、小学校区で開催する場合の中学生の関わり等について懸念もあるが、持ち帰る。

(松本朝霞第三小学校長)

- ・五中校区については、三小・五中の連携を続けていく予定である。毎回三小が事務局で、大変な面も多いが、子供の笑顔や素顔をみるとやってよかったと思っている。今後も学校と地域と連携し子供中心でやっていきたい。

(松尾自治会連合会長)

- ・ふれあい推進事業をしている自治体は多くない。せっかく良い事業がある中で、そ

の時々のいろんな判断があり、すぐにやめるという判断ではなく、休むでもよいのではないか。

(富士学校教育部長)

- ・地域で子供を育てる、青少年健全育成を目的に各中学校区でスタートした事業。大変だというご意見もいただいたが、ぜひ本事業の趣旨を共有し、課題があれば学校・家庭・地域で協力し進めていただきたい。

(山田朝霞第四中学校父母と先生の会会長)

- ・四中と八小は隣で連携しやすい。四中は部活動が主体となって普段はあまり関わらない部活動同士の交流が盛んとなっている。そして、保護者も出店の準備に参加することで、保護者間も仲良くなった。子供たちも活気があり保護者の関係性も深まるのでこの活動が続くとよいと思う。

(羽石朝霞第五小学校PTA会長)

- ・五校区全て同じ金額で良いのか。(所属する校数が異なるため、)各中学校区によって金額を変えても良いのではないか。

(奥山生涯学習部長)

- ・補助金の配分について話題になったことがない。来年度予算について、現在は今年度と同様に考えているが、予算の内訳については今後検討する。

3 閉会